

2010年7月1日(木)

翠会ヘルスケアグループ本部通信 (vol. 21)

今月の TOPICS

～ 第一回翠会精神医学研究発表会について ～

(翠会精神医学研究所長 西山 正徳)

第一回翠会精神医学研究発表会が6月11日に開催されました。

本発表会は、21年度から開始された、翠会精神医学研究費による研究の概ね、1年後の成果を、翠会幹部および、倫理審査委員等に披露し評価を受けること、並びに継続研究希望者については、継続するか否かを決定するため開催されたものであります。

初年度である21年度研究には20課題程度の応募がありましたが、研究内容がまだ熟していないものや翠会に対する貢献度が希薄なもの等、当研究所長(守屋所長:当時)、副所長で検討・協議の結果、今回発表の13課題に絞られ研究が開始されました。

発表会には新貝理事長はじめ、守屋翠会精神医学研究所名誉所長、斎藤和光病院長、渡辺蓮根ひまわり園長、そして倫理委員会からは木村委員の出席を頂き、また、行橋記念病院から6名もの参加を得て盛会のうちに会が開始されました。

研究発表は第一部「治療技術に関する研究」として6題、第二部「院内事故等の発生状況と予防に関する研究」として4題、第三部「システム、教育、地域医療に関する研究」として3題が報告されました。また、それぞれの部の講評を第一部は斎藤院長、第二部は永尾看護部長、第三部は西山が担当しました。そして最後には守屋名誉所長、新貝理事長から講評をいただき、特に新貝理事長からは、翠会医療のさらなる質の向上を目指し、研究の発展に尽力する必要がある。との総括がなされ、予定した時間を40分以上も超過するほどの質疑応答がなされました。

今回の発表会を通じて感じたことは、これだけ多くの質疑応答が出ると言うことは、参加者を含め翠会人間の精神医学研究への熱心さを表すもので、それはとりもなおさず医療の質の向上と医療の透明化に繋がるもので、極めて頼もしく感じ入った次第であります。